

ずさんなお金の  
使い方にNO!うらた充  
mitsuru urata

とどく生きる会

北村あやこ  
ayako kitamura

第38号 2024年9月議会報告-2

ムダ遣いは  
許せません

市用すれば、その分安くなり、市民サービスも向上します。日出谷地区は、分厅舎が老朽化し、公共施設が不足しています。この建物をコミュニティセンターや児童館などに再利用すれば、その分安くなります。この理由の一つは、壊してしまう事です。都心の一等地ならざ知らず、場所は旧日出谷保育所の更地。

なぜ?  
15か月で解体鴨川保育所仮設園舎借り上げ15月  
入札結果

業者名	第1回(開標)
(株)アクティオ 北本営業所	静退
都リース(株)埼玉支店	静退
株)システムハウスアールアンドシー 東京支店	静退
大和リース(株)さいたま支店	137,800,000
立川ハウス工業(株)埼玉営業所	静退
東海リース(株)東京支店	静退
(株)内藤ハウス 埼玉営業所	静退
(株)ナガワ 埼玉営業所	静退
日成ビルド工業(株)埼玉支店	静退
ユアサマクロス(株)	静退

競争入札で、大和リース(株)と契約しましたが、入札は10社中9社が辞退と不可解です。月1千万円の借上げ料。指名競争入札で、島村工業が提案されました。

総額1億5千万円

来年10月末完成、鉄骨地上1階、延べ床683・7m<sup>2</sup>です。一般競争入札でしたが、応募は2社のみ。仮設園舎を工事中の15か月間、リースします。

3年10か月使った3  
階建て仮設庁舎  
強度もコストもかか  
っているのに安い

私たち「ともに生きる会」と近本議員が反対しました。

仮庁舎と仮設園舎では1.6倍

仮設建物	庁舎2019年	保育所2023年
総額	2億9,606万円	1億5,169万円
期間	46か月	15か月
構造・面積	鉄骨3F3,587m <sup>2</sup>	鉄骨1F683.7m <sup>2</sup>
単価/m <sup>2</sup>	82,537円	221,869円
リース料/月	6,436,087円	10,113,133円

7年前の3階建て仮設庁舎  
3階建ての仮設庁舎より高い

現在調査中ですが、見積もり金額の計算は、専門の建築課が関与せず、不可解です。

## 2023年（R3）年度決算認定に反対しました

決算は、その年度の予算に無駄がなかったか、効果はあったのかなどを審査します。委員会では、資料も提供され、丁寧な審査ができますが、議員には、勉強や調査が必要です。行政評価をしない桶川市では、ミスやムダ遣いがたくさんあり、一部を報告します。

### ふるさと納税の損失は1億9千万円

昨年度の寄付額は、2,105万円。前年より500万円の減。委託料を差し引くと、1,173万円。一方、市民が他市に寄付し、税金控除を受けた額は、1億9,900万円。差しひき1億8,724千万円のマイナスです。市に魅力がない事の表れです。

### 改まらない自動販売機

市の土地や建物に、設置させている57台の自動販売機。そのうち入札分が3台で110万円（48円/本）の収入。57台の売り上げ総本数は、260,219本。入札すると1,250万円に。国はすべての施設を入札にし、安く販売しています。市長が入札に変えないのは、利権があるからでしょうか？

### 随意契約は31億円（50万円以上）

地方自治法で入札しない随意契約は条件がありますが、ルールを守っていないものが多く、金銭感覚がマヒしています。とりわけ、環境センターは、既得権を一掃できず、1社独占の契約が多くみられます。

12月議会は12月3日（火）  
から始まります。

一般質問

うらた充 12月12日（木）  
北村あやこ12月13日（金）  
の予定です。※ インターネット中継でも見  
られます

### 市内業者発注率は1/3

工事の市内業者受注率が前年度比較で2倍に、全体が4/1から3/1になりました。しかし、一般競争入札の応募がすべて市内業者のみになり、不可解な結果となっています。

種別	合計額	市内受注額	受注率
工事	13億8千万円	7億5,千万円	54%
委託	11億3千万円	13億4千万円	12%
物品	2億7千万円	9千8百万円	4%
合計	27億8千万円	89億7千万円	32%

市内受注額は①青木清掃（株）5億4,600万円②株加納工務店1億8,200万円③株清水建材工業6,200万円④浅見工業（株）6,200万円⑤株島村建設工業5,200万円⑥株山中土建工業4,900万円。

### 子育てに冷たい桶川市

複数保育園に通っているのは15世帯。信じられない状況が3年も続く。保育所待機児童は64人、放課後児童クラブは49人。子育ての大変さが分かっていない。



## 先行きが心配な道の駅

指定管理者として失格

道の駅は、TTCグループが、応募1社で決まり、25年3月開業に向け現在建設中です。

建物から設計、運営まで同グループが手がけ、市はそのすべてのコストを支払います。

9月議会、施設の管理を（株）ベニネクストに委託する議案の提案がありました。この会社は、静岡が本社の（株）TTCの100%子会社で、桶川の道の駅のために作った会社です。

指定管理をする場合、その会社の経営状態や姿勢など、資料を基に審議するのですが、立ち上がったばかりの会社の場合、親会社の状況を見極めなければなりません。

### なぜ？情報隠しの（株）TTCと桶川市

しかし、貸借対照表のみで、会社の経営状態は隠したまま。地域福祉センター、サンアリーナ、べにばなふるさと館、坂田コミュニケーションセンターなど、市のすべての法人は、すべて情報公開をしています。市と契約をしている法人は、公人であり、工事や委託、物品購入業者なども、経営情報やモニタリング結果もオープンです。

TTCグループ（設計、工事、運営会社）には総額12億2千万円、（株）ベニネクストには15年で5億5,500万円のお金を払います。

近年、拡大路線の同社の経営、公共施設への情報公開の姿勢とコンプライアンスなど、不安材料がなくなる説明は行われず、市の担当もぶれまくり、農業支援も不透明です。

「ともに生きる会」は、反対をしました。

一枚舌の首相

